

社協だより

編集・発行  社会福祉法人 香美町社会福祉協議会
 〒669-6545 香美町香住区森31-1 香美町香住地域福祉センター内
 TEL 0796-39-2050 TEL 0796-36-2758 FAX 0796-39-2150
 ホームページアドレス <http://www.kami-shakyo.org/>



とどけますみんなの元気

いこいの里 陶芸クラブ(小代区)

社会福祉協議会が運営する「いこいの里」は、高齢者を対象に心と体の元気づくりをめざしており、地区利用の他、クラブ活動を実施しています。その中の一つ、陶芸クラブは毎月1回みなさんが集まって作品作りを楽しんでいます。

8月28日には、釉薬(ゆうやく: 器の表面をおおい、器を丈夫にしたり、やきものを美しく見せたり、水分がしみ込むのを防いだりする上薬)をかけて本焼きを行いました。「自分で考えていろいろな作品ができるのでとってもおもしろい」とみなさんは笑顔でおっしゃいます。9月以降は、文化祭出品作品や干支の置物を作成する予定とのこと。

初めての人でも楽しくできるそうですので、参加を希望される方は社会福祉協議会小代支所までご連絡ください。

《今月の主な内容》

介護保険事業所紹介……………2
 第3次地域福祉計画策定委員会……………3
 ボランティアセンターだより ……4~5

10月は里親月間です……………6
 ステキな出逢いを応援します……………7
 けいじばん……………8



介護保険事業所紹介

グループホーム「かがやき」

グループホームは、認知症の症状のある方が、少人数の家庭的な環境の中で、食事や入浴など必要な介助を受けながら、その人らしく普通の暮らしをすることを目的とした施設です。穏やかな環境の中で生活することで、認知症の進行を緩やかにすることができま



▲ 入居者、地域の方、ボランティア、職員、みんな一緒に頭の体操！

「かがやき」では、地域の中の施設として、つどい場作りに力を入れています。毎月、入居者の方が地域に出向いて交流している「畑の家」や、地域の方をグループホームに招いて、茶話会を開催しています。地域の方と交流することで、入居者の方たちに、自分たちも地域の一員であると感じていただくことを目指し



ます。また、地域の方たちに、グループホームや認知症について知っていただく機会としても活用したいと考えています。「認知症の人は何もわからな

い」と思われがちですが、ご本人は「できなくなつた自分」をよくわかつておられますし、昔のことなど、非常によく覚えておられます。認知症の方と一緒に過ごすことで、認知症について正しい知識を持つていただけたら、と考えています。また、福祉・介護について気軽に相談していただける窓口としての役割も担っています。

【お問い合わせ】

グループホーム「かがやき」

香美町香住区無南垣96
☎0796-38-1500

グループホーム「かがやき」

Q&A

Q どんな人が入居できますか？

A 認知症の診断を受けた方で、要支援2か要介護1以上の介護認定を受けた方です。

Q 費用はどれくらいかかりますか？

A 基本料金は1日798円～900円。要介護度によって変わります。基本料金に光熱費、食費、おむつ代等が別途加算されます。詳しくはお問い合わせください。

第3次 地域福祉推進計画策定に向けて 第1回策定委員会開催

香美町社会福祉協議会第3次地域福祉推進計画（以下「推進計画」）の策定に向け、各団体等からの推薦による委員で構成される地域福祉推進計画策定委員会（以下「策定委員会」）を、去る8月18日に開催しました。策定委員会では、委員長・副委員長の選任についての審議が行われ、委員長には藤原孝治さん（香住区自治会長）、副委員長には、南垣久美子さん（村岡ボランティアセンター・副委員長）が選任され、本年度中の策定完了を目指し、取り組みがスタートしました。

◆社会福祉情勢を共有

第1回目の策定委員会では、現在の社会福祉を取り巻く情勢やこれからの社協の方向性について、兵庫県社協地域福祉部・杉田健治部長の基調説明を聴き委員全体の共通認識を図りました。

基調説明では、平成27年度4月からの大きな動きとして、
①生活困窮者自立支援制度、
②介護保険制度と新しい地域支援事業、
③社会福祉法人制度見直しの3点についての説

明がありました。

その中で、介護保険制度改正に伴う新しい地域支援事業では、住民が、地域において生活・福祉課題に対する問題意識を共有し、人と人のつながりを強め、地域社会の強化につなげる「地域福祉によるまちづくり」をすすめるものとされています。そのため住民を主体として、行政や関係機関が協働する仕組みを創ることが、社協に求められており、今回の改正は、介護報

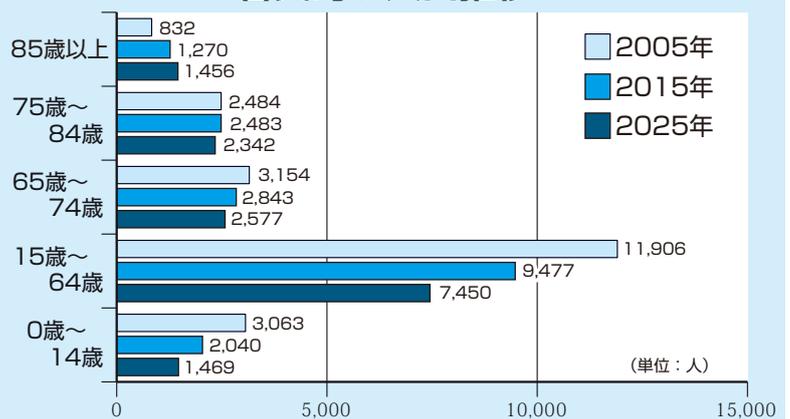
酬の減額等、社協にとっては厳しい部分もあるが、社協本来の使命である「当事者・住民の主体性を原動力とした福祉コミュニティの形成」に向けて追い風にしていく必要があると強調されました。

社協では、このような社会福祉情勢や香美町の少子高齢化等の現状と今後の推移等を踏まえながら、さらに社協の財政、組織等の経営基盤強化目標を一体とした、平成28年度から平成32年度までの5ヶ年間の第3次推進計画の策定に取り組みます。

第3次地域福祉推進計画策定委員会委員

| 氏名(敬称略) | 役職名 |
|---------|--------------------|
| 藤原孝治 | 香住区自治会長 |
| 谷口重雄 | 村岡区自治会長 |
| 田村正明 | 小代区自治会長 |
| 田村英子 | 香美町民生委員児童委員協議会長 |
| 山崎つるみ | 香美町民生委員児童委員協議会副会長 |
| 田中重喜 | 香美町民生委員児童委員協議会副会長 |
| 畑中恭子 | 香美町ボランティアセンター運営委員長 |
| 南垣久美子 | 村岡ボランティアセンター委員長 |
| 森利秋 | 香美町手をつなぐ育成会長 |
| 三輪一三 | 香美町老人クラブ連合会長 |
| 井端てる系 | 香美町婦人共励会副会長 |
| 中村芳三 | 香美町身体障害者福祉協会会長 |
| 岡田英俊 | 香美町福祉課長 |
| 寺川理生 | 社協香住区担当理事 |
| 田淵中 | 社協村岡支所担当理事 |
| 藤澤昌彦 | 社協小代支所担当理事 |

香美町の人口推移



(国立社会保障・人口問題研究所：平成25年3月推計)

香美町 ボランティアセンターだより

楽しくながら学習サポート
～青い鳥学級ボランティア～



▲段差があっても、ボランティアが教えてくれるから安心！

視覚に障害のある方を支援するボランティア活動には、本や書類を点字に点訳する活動や朗読して音訳する活動があります。今回取り上げる活動は、視覚障害者の生涯学習の場をサポートするボランティア活動です。

『香美町青い鳥学級』は視覚に障害のある方を対象に開催されている生涯学習の場で、内容は紙漉きやサイクリングやリンゴ狩りなどの体験活動から福祉制度の勉強会など様々です。

現在は視力に障害のある7名が学級生として参加され、徒歩での移動や食事などをボランティアがサポートしてしています。

約20年、青い鳥学級のボランティアをされている村岡区の女性は、「お手伝いしているという感覚ではなく、月に一回楽しい時間を一緒に過ごしています。初めて体験することや当事者の方から教わるのがたくさんあり毎日が貴重な時間です。当事者の方と一緒に歩きながら声かけをしたり、食事の時にお茶碗の位置を伝えたりしています。難しいことはないのですが、仲間が増えるとうれしいです」と話されています。



【お問い合わせ先】

香美町社会福祉協議会 本所

☎0796-3912050

囲碁ボールで交流会
香住ボランティア連絡会

9月6日(日)、香住B&G海洋センターで香住ボランティア連絡会の囲碁ボール交流会が行われました。

香住ボランティア連絡会は香住区内のボランティアグループの横のつながりを作ることを目的に結成され今年で7年目を迎えます。現在は13グループが加入しています。

当日は4チームに分かれての囲碁ボール大会と調理ボランティアグループが作ったカレーで昼食会を行い、日頃の活動の話で盛り上がりながら楽しく交流を図りました。



▲昼食は調理ボランティアの手作り♪



▲囲碁ボールで楽しく交流

参加された方は「他のグループの活動の話が聞けてとてもよかったです。新しい刺激をもらい、これからも自分達にできる活動をコツコツと続けていきたいです」と話されています。

香住ボランティア連絡会の橋本富雄会長は「ボランティアの輪が少しでも広がっていくように、これからも頑張りたいです」と話されました。

シリーズ **がんばれ!! ボランティア**

香住区 ふれあい旅行実行委員会

vol.14

香美町ふれあい旅行は障害の有無に関係なく参加者が互いに助け合いながら旅行を楽しもうと、平成元年から途切れることなく続けている年1回の旅行です。スタートしたきっかけは、障害がある方の「旅行がしてみたい」という想いとそれをサポートしたいと感じた数名の有志の存在でした。当時はバリアフリーの旅館やリフト付きの車両が少なく、多くの壁がありました。が、知恵を出し合いひとつずつ乗り越えていきました。ふれあい旅行では、「してあげる」ではなく「一緒に楽しむ」ということを大切にしながら旅行を続けてきました。昨年からは実行委員長を務める田村高春さん（香住区）にお話を聞きました。

Q ふれあい旅行に関わるボランティアさんはどんなことをされていますか？

A 秋に実施する旅行で車いすを押ししたり声かけをしたり、自分達にできること

をしながら安全で楽しい旅行になるように関わっています。

Q 旅行当日以外の活動は？

A 安全な旅行になるように下見をしたり会議で旅程やサポート体制について細かく打合せをしています。また参加者の負担をできるだけ少なくしようと、香住ふるさと祭りなどでバザーをしています。

Q 関わるようになって感じることはありますか？

A これまで福祉やボランティアはどこか他人事という感覚でした。ふれあい旅行に参加して初めて車いすを押し「自分にもできる自分にも関係あること」と感じました。

ふれあい旅行では参加者もボランティアもお互いに助け合い、支え合うことが基本です。一方的な関係ではなく、みんなで助け合っているからこそ温かい雰囲気があるのだと思います。



▲ この旅行でみんなに会えるのが、一番の楽しみ！



▲ リフト付バスで車いすの方の乗り降りも楽々！

10年以上ふれあい旅行に関わっている尾崎泰則さん（村岡区）にもお話を聞きました。

「ふれあい旅行に参加するようになって、お年寄りの方や障害がある方が安心して旅行や遠出できる機会が少ない事を知りました。だからこそ、参加者のみなさんは、ふれあい旅行をとても楽しみにされています。

一人でできることは少ないですが、みんなで協力することで安全な旅行ができます。旅行当日だけの参加やバザーの協力だけでもいいので、多くの方にふれあい旅行に関わっていただき、この先も続いていくようにしたいです」と話されました。

これからも香美町ふれあい旅行が続いていくようあなたの力をお貸しください！

■ お問い合わせ先

ふれあい旅行実行委員会事務局
香美町社会福祉協議会 本所
☎ 0796-3912050

介護職員初任者研修が始まりました!



▲ 熱心に講義を聴く受講生

香美町社会福祉協議会では、9月1日から村岡老人福祉センターを会場に、香美町内各地から申込みれた10名を対象に、12月末までの4ヶ月をかけた130時間の研修課程が始まっています。

初日は、介護職のイメージを持つてもらうため、介護の現場であるデイサービスセンターでの主な業務の説明を受けました。2日目は介護職である前に、「福祉とは」普段の暮らしを幸せだと思えることとであり、「その人の生活の



▲ 現物や実物を見て学ぶこともあります

中にその人らしさがある」ことを講義で学びました。介護の仕事は、訪問系・通所系・入所系と、それぞれたくさん種類がありますが、日常生活という視点では、専門職と関わらない時間のほうが実は多いのです。その人の生活に寄り添うことで、家族や地域の人もつながってこそ、介護の専門職としての力が発揮されます。受講生のみなさんは、希望とやる気で、目を輝かせて受講中です。

10月は「里親月間」です

あなたも里親になりませんか?

☆里親とは・・・

さまざまな事情により、家族と一緒に暮らすことのできない子どもたちを、家族の一員として温かく迎え入れ、深い愛情と正しい理解を持って育ててくださる方を『里親』といいます。また、週末や正月、夏休みなどに児童養護施設の子どもたちを預かっていただく、『週末里親』『季節里親』もあります。

☆里親になるには・・・

事前に研修（講義・児童養護施設実習）を受講していただき、こども家庭センターにて里親申請を行います。その後県知事に認定を受け、里親登録されると『里親』になります。

但馬地区では、
現在31組の里親が登録
されており、11人の子ども
たちが里親宅で
生活しています。



【問合せ先】
豊岡こども家庭センター
☎0796-22-4314

ステキな出逢いを応援します

但馬内で開催される婚活イベントのご案内です。じっと待っているだけでは、出逢いは訪れません。イベントに参加して、一歩前に踏み出してみませんか。

アウトドア日和にでかけよう♪

と き：2015年11月21日(土)
10:00～15:30

と き：兎和野高原野外教育センター
(香美町村岡区宿791-1)

募集対象：45歳以下の男女
募集人員：男女各10名(定員に達した場合抽選)
参加費用：男性2,500円/女性2,000円
応募期限：11月6日(金)
内 容：石釜ピザ作り、ゲームなど

【お申込み・お問合せ】
ほっとHOT事務局(香美町社会福祉協議会内)
TEL: 0796-39-2050 ☐ y_morita@kami-wel.jp

但馬ここのとり大使による縁結び交流会

と き：2015年11月15日(日)
11:00～15:30頃

と ころ：県立但馬長寿の郷
参加資格：県内に在住、在勤の独身男女
(男性は但馬在住、在勤を優先)
募集人員：男女各15名(定員を超えた場合抽選)
参加費用：男性3,500円/女性2,000円
応募期限：10月28日(水)
内 容：1対1のトーク、ティータイム等

【お申込み・お問合せ】
但馬出会いサポートセンター
TEL: 079-662-7701 (水・木・土 9:00～17:15 開館)

善意銀行だより

8月分(平成27年8月1日～31日)
(預託順・敬称略)

本所

・香典返し
森 松岡友幸

無南垣 神田美智子

中野 西川利男

下森 五宝伸治

香住 石田喜八郎

無南垣 藤本光一

福社の志 吉田直樹

余部 谷口俊行

村岡支所

・香典返し
味取 仕名野利重

板野 前田寿広

日影 西田昭子

相田 田中敏

小代支所

・香典返し
実山 上治章夫

福社の志 秋岡 行雄

預託金合計

322,000円

○お名前は、預託者本人のご意向により掲載しています。

皆様からのあたたかいご預託は社協の地域福祉活動に使わせていただきます。ありがとうございました。

収集ボランティア

古切手等の収集にご協力いただいた皆様をご紹介します。

8月分(平成27年8月1日～31日)
(預託順・敬称略)古切手・ベルマーク・はがき・テレホンカード

本所

小原 香住鶴株式会社

沖浦 有限会社カネヒ

香住 毛戸工業株式会社

香住 香美町役場 町民課

若松 白滝かずみ

香住 (有)田村建築

香住 橘法務行政書士事務所

〔村岡支所〕
村岡 西垣美砂子

和池 小林琢未

宿 墨田社会保険労務士事務所

和池 田中とよ子

〔小代支所〕
神場 上治 きみ子

その他にも、匿名で多くの方にご協力頂きました。ありがとうございました。

